

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全		27年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト			
事務事業名	堀川口防潮水門の地震・津波対策		継続	維持	維持	連絡先 052-654-7937	施設事務所、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	堀川口防潮水門				事業 期間	
	意図(どうい う状態にしたいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。					
概要	堀川口防潮水門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。					根拠 法令等	
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、住民及び企業の生命・財産を守ります。					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
28年度の実施予定	堀川口防潮水門の4号通航水門について耐震補強工事を実施します。(平成28年度から平成29年度の債務負担行為による工事)					関連 シート	

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	堀川口防潮水門の4号通航水門について補強工事を進めました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	135,785	42,756	138,440	397,581	
人件費	千円	3,788	3,746	6,898	20,564	
合計	千円	139,573	46,502	145,338	418,145	

3 CHECK(検証)

指標名	26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状況 (全4工程)	目標	2	3	3	3(累計)	既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事完了	
	実績	2	3	3			
(進行管理型)	事業進捗状況(28年度)			順調 やや遅れ・遅れ			
指標名	26年度	27年度	28年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
門扉補強工事の事 業進捗率(%)	目標	100.0			100(累計)	事業進捗率(目標・実績)は、出来高割合で す。	
	実績	100.0					
(進行管理型)	事業進捗状況(28年度)			-			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	耐震補強工事完了に向け順調に進捗しております。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	<input type="radio"/>	地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のにニーズも高いと考えております。					
有効性 事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献と考えております。					
効率性 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効率性 最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	必要最低限のコストにて取り組んでおります。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	港の安全性向上に必要な不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく必要があるため。
課題			29年度以降の取組
背後地の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続的に事業を進めていく必要があります。また、堀川口防潮水門は、高潮対策に主眼をおいた構造であることから、津波への対策を更に強化する必要があります。			堀川口防潮水門は、平成33年度の完了を目的に躯体の耐震補強工事を着実に推進するとともに、新たな水門の整備に向けて検討を進めていきます。